NEWS RELEASE

横浜ゴム株式会社
〒105-8685 東京都港区新橋5丁目36番11号

2011 年 12 月 1 日

横浜ゴム、SUV 用低燃費タイヤ※1「GEOLANDAR（ジオランダー） SUV（エスユーブイ）」新発売
低燃費性能※1 に加えて快適性、安全性も向上

横浜ゴム（株）は SUV 用タイヤ「GEOLANDAR（ジオランダー）」の新商品として、SUV 用低燃費タイヤ「GEOLANDAR SUV（ジオランダー・エスユーブイ）」を 2012 年 2 月より順次発売する。発売サイズは 245/50R20 102V～175/80R15 90S の全 26 サイズで、価格はオープンプライス。

近年、SUV 市場は従来のオフロード性能を考慮した 4WD や大型 SUV に加えて、オンロード走行を中心に設計された都市型のクロスオーバー車や中･小型 SUV の人気が高まっている。新商品の「ジオランダーSUV」はこのカテゴリーを中心に開発した商品で、優れた低燃費性能を有しながら安全性能、快適性能を追求し、かつ様々な路面を走破する SUV 用タイヤならではのユーティリティ性能も目指した。

開発にあたっては、「環境性能のさらなる向上＋人に、社会にやさしい」をテーマとした当社の低燃費タイヤ「BluEarth（ブルーアース）」の開発で培った最新のコンパウンド配合技術や設計技術を応用し、耐久性が必要となる SUV 用タイヤに初採用した。これにより、オンロード志向の「ジオランダーH/T-S」に比べ、ころがり抵抗性能は 16％低減※2 しつつ、ウェット制動性能は 6％向上※2、パターンノイズ性能は 21％向上※2、ロードノイズ性能は 13％向上※2 させた。タイヤサイドには優れた環境性能を実現した証として「ブルーアース」のコンセプトマークを刻印している。

「ジオランダー」シリーズは現在、「ジオランダーH/T-S」、オールラウンド「ジオランダーA/T-S」、オフロード用フラッグシップ「ジオランダーM/T+」、スタッドレスタイヤ「ジオランダーI/T-S」の 4 商品をラインアップ。日本だけでなく、グローバル商品として世界各地で販売している。

※1： 従来タイヤG051からのころがり抵抗16%低減による低燃費です。現在のラベリング制度では乗用車用サマータイヤのみを扱っており、本製品は冬用タイヤの性能を具備しているため対象外となります。本商品の低燃費性能は、夏用タイヤとして使用した場合の性能です。

※2： 詳細なテスト内容は参考資料の性能データをご覧ください。性能データについては、タイヤ公正取引協議会に届け出てあります。

発売サイズ

インチ	偏平率	タイヤサイズ	発売予定月
20	50	245/50R20 102V	2012年2月
	55	235/55R20 102V	2012年2月
19	55	235/55R19 101V	2012年2月
18	55	235/55R18 100V	2012年4月
	60	225/60R18 100H	2012年4月
		★235/60R18 107V	
		245/60R18 105H	
	65	225/65R18 103H	2012年4月
		235/65R18 106H	
17	55	215/55R17 94V	2012年5月
		235/55R17 99H	2012年4月
	60	215/60R17 96H	2012年4月
		225/60R17 99H	2012年5月
		255/60R17 106H	2012年2月
	65	225/65R17 102H	2012年2月
		★235/65R17 108V	2012年5月
		245/65R17 107H	2012年4月
	70	215/70R17 101H	2012年2月

インチ	偏平率	タイヤサイズ	発売予定月
16	65	215/65R16 98H	2012年2月
		225/65R16 100H	
	70	215/70R16 100H	2012年4月
		225/70R16 103H	2012年2月
		235/70R16 106H	2012年4月
15	70	205/70R15 96H	2012年2月
		225/70R15 100H	
	80	175/80R15 90S	2012年2月

★印はエクストラロード規格

このリリースに関するお問い合わせ先
横浜ゴム（株）広報部　担当：菊地
TEL：03-5400-4531　FAX：03-5400-4570

ジオランダーの耐久性とブルーアースの環境性能が生んだ「SUV用低燃費タイヤ※」

●ジャギーエッジ・グルーブ

ジグザグ状のエッジを刻んだメイングルーブ。エッジの総長さを拡張することでウェット性能を向上。ジグザグの壁状にすることで摩耗した状態でもエッジ長さを確保し、摩耗時の性能低下を抑制します。

新品時　摩耗50%時

●高剛性アクティブショルダー

ブロックを貫通させないラグ溝とサイプを交互に配置。ショルダーの剛性とウェット性能を両立。

●剛性コントロールサイプ

横方向に細いカーフをセンターからショルダーブロックまで配置することにより、パターンの剛性をコントロール。またサイプエッジが水膜を切り、ウェット性能の向上にも貢献します。

●スパイン・センターリブ

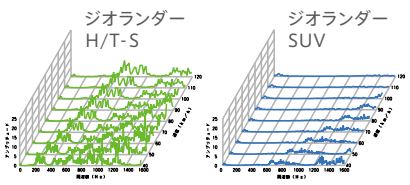
柔軟さとしっかり感を両立する「背骨（スパイン）構造」をデザイン化したセンターリブ。周方向に連なるリブに、非貫通の短いラグ溝、サイプを適正に配置しました。剛性バランスを追求し、操縦安定性・ハンドリングレスポンスを向上。素直なコーナリングやレーンチェンジに性能を発揮します。

パターンノイズを低減する「5ピッチバリエーション」採用。

大きさの異なる5種類のピッチ（ブロック）を音圧シミュレーションを活用して最適配置。走行時のパターンノイズ周波数のピークを分散させると共に、音圧レベルも低減させました。また偏摩耗を抑制するパターンデザインを追求し、摩耗後の静粛性についても配慮しています。

■ピッチの配列で音を低減

大小5つのピッチを最適配置し、ノイズのピークを分散させる。

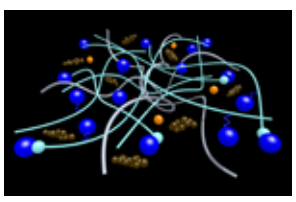


■音のピークが分散し、音圧レベルも低い。

「ジオランダーSUV」のパターンは、あらゆる速度域で音のピークを持たず音圧レベルも低い。

低燃費・高耐久性のブレンドポリマー、そして「オレンジオイル」を配合。

新開発の「GEOLANDAR SUV」専用ナノブレンドゴムを採用。低燃費性・耐摩耗性にそれぞれ効果を発揮する複数のポリマーをブレンドし、さらにグリップ性能を高める「オレンジオイル」を配合。低燃費と耐摩耗性に加え、高いグリップ性能を備えたコンパウンドが完成しました。



ナノブレンドゴム「GEOLANDAR SUV」仕様

耐偏摩耗にも効果を発揮する、「低燃費プロファイル」を採用。

タイヤの歪みを抑えて接地圧を均一化し、走行時のエネルギー損失を減らすプロファイルを採用。耐偏摩耗性にも貢献します。また、SUV用に剛性を最適化した専用構造の採用によりロードノイズを低減しました。

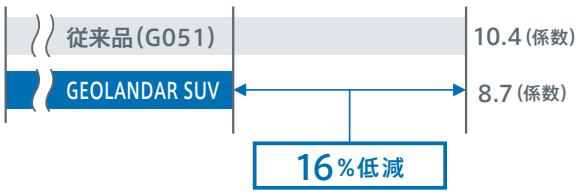
ジオランダーH/T-S

ジオランダーSUV

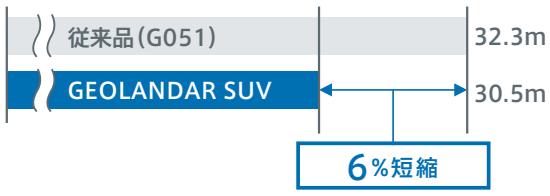
※従来タイヤG051からの転がり抵抗16%低減による低燃費です。現在のラベリング制度では乗用車用サマータイヤのみを扱っており、本製品は冬用タイヤの性能を具備しているため対象外となります。本商品の低燃費性能は、夏用タイヤとして使用した場合の性能です。

性能データ

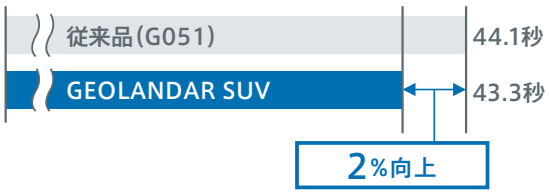
■ ころがり抵抗値



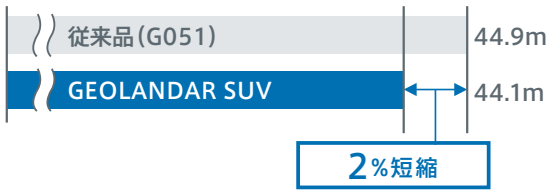
■ ウェット制動性能



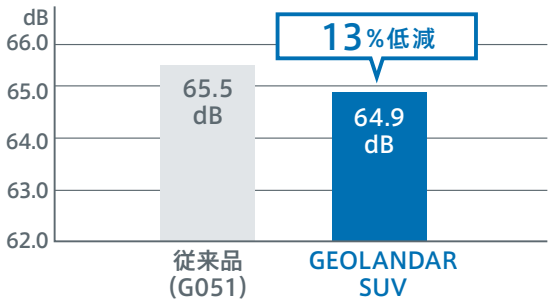
■ ウェット操縦安定性(ラップタイム)



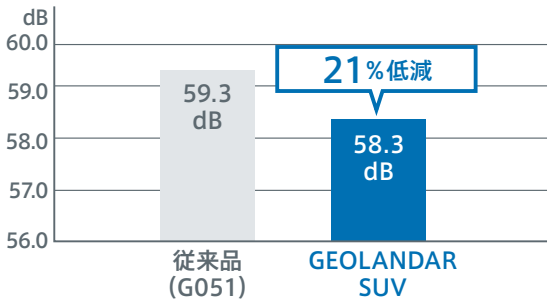
■ ドライ制動性能



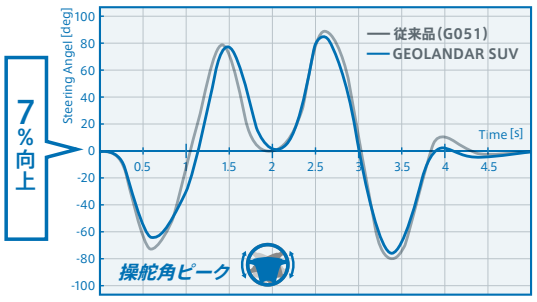
■ ロードノイズ(騒音エネルギー低減率)

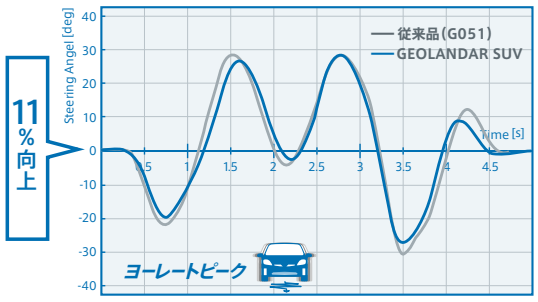


■ パターンノイズ(騒音エネルギー低減率)



［レーンチェンジ時のふらつき］





●ころがり抵抗値:＜試験方法＞当社室内ドラム抵抗試験機によるころがり抵抗係数(RRC)をISO28580条件で測定。＜試験条件＞タイヤサイズ225/65R17 101H G051 225/65R17 102H G055、リムサイズ17×6.5J、空気圧210kPa、負荷荷重6.67kN、速度80km/h ＜試験結果＞G051「10.4」、G055「8.7」●ウェット制動性:＜試験方法＞当社テストコースにてGPS付計測器装着によるブレーキ試験を実施。各タイヤ5回計測を行い、最大・最小を除いた3回の平均値を算出。＜試験条件＞タイヤサイズ225/65R17 101H G051・225/65R17 102H G055、リムサイズ17×7J、空気圧220kPa、荷重2名乗車相当、車両RAV4(ACA36W,2.4L,4輪駆動)、ABS作動、速度80km/h、水深2.5±1mm ＜試験結果＞G051「32.3m」、G055「30.5m」●ウェット操縦安定性:＜試験方法＞当社テストコース内ウェット低μハンドリング路を走行しラップタイムを計測。各タイヤ5回計測を行い、最大・最小を除いた3回の平均値を算出。＜試験条件＞タイヤサイズ225/65R17 101H G051・225/65R17 102H G055、リムサイズ17×7J、空気圧220kPa、荷重2名乗車相当、車両RAV4(ACA36W,2.4L,4輪駆動)、水深2～3mm ＜試験結果＞G051「44.1秒」、EF10「43.3秒」●ドライ制動性:＜試験方法＞当社テストコースにてGPS付計測器装着によるブレーキ試験を実施。各タイヤ5回計測を行い、最大・最小を除いた3回の平均値を算出。＜試験条件＞タイヤサイズ225/65R17 101H G051・225/65R17 102H G055、リムサイズ17×7J、空気圧220kPa、荷重2名乗車相当、車両RAV4(ACA36W,2.4L,4輪駆動)、ABS作動、速度100km/h ＜試験結果＞G051「44.9m」、G055「44.1m」●ドライ操縦安定性(操舵角・ヨーレート):＜試験方法＞当社テストコースにてISO3888-1に定められているコースをパイロンで作成して操舵角、ヨーをセンサーにて計測。各タイヤ5回計測を行い、最大・最小を除いた3回の平均値を算出。＜試験条件＞タイヤサイズ225/65R17 101H G051・225/65R17 102H G055、リムサイズ17×7J、空気圧220kPa、荷重2名乗車相当、車両ヴァンガード(ACA33W,2.4L,4輪駆動) ＜試験結果＞操舵角ピーク値G051「80.5」、G055「75.1」/ヨーレートピーク値G051「28.4」、G055「25.1」●ロードノイズ:＜試験方法＞当社テストコースにて総合試験路を100km/h～20km/hにてエンジンOFFにて走行した際の60km/h速度での車内音を計測。＜試験条件＞タイヤサイズ225/65R17 101H G051・225/65R17 102H G055、リムサイズ17×7J、空気圧220kPa、荷重2名乗車相当、車両RAV4(ACA36W,2.4L,4輪駆動)＜試験結果＞G051「運転席の助手席側耳位置:59.3dB」、G055「運転席の助手席側耳位置:58.3dB」●パターンノイズ:＜試験方法＞当社テストコースにて50km/hの速度にてロードノイズ路を走行した際の車内音を計測。＜試験条件＞タイヤサイズ225/65R17 101H G051・225/65R17 102H G055、リムサイズ17×7J、空気圧220kPa、荷重2名乗車相当、車両RAV4(ACA36W,2.4L,4輪駆動)＜試験結果＞G051「運転席の助手席側耳位置:65.5dB」、G055「運転席の助手席側耳位置:64.9dB」
※タイヤの表示に関する公正競争規約に定められた試験方法で試験を行っています。詳細なデータはタイヤ公正取引協議会に届け出ています。試験結果はあくまでもテスト値であり、運転の仕方によっては異なります。

※音圧差での騒音エネルギー低減率の換算式は、

$$騒音エネルギー低減率(\%) = \left(\frac{1}{10^{\frac{音圧差}{10}}} - 1\right) \times 100$$